

## カイク

岐阜高校 P N 端之小石

私、羽田かい子28歳は、リストラ、つまり解雇されました。駄洒落ではありません。本当です。マジもんの解雇です。高校を出てからもう10年近く働いた会社からクビを切られたんです。退職金が100万円程もらえます。こんな私を家で待っているのは龍くんこと甲斐田龍一くん(32歳無職)。彼との同棲生活は3年ほどになります。生活費は私が入れています。

龍くんがする事といえば、朝からパチンコを打ち、何処かの女と逢瀬を重ね、帰宅して金をせびり、パチンコを打ち、たまに私と交じり、その倍以上私以外の女と交わり、金をせびり、渡さなければ殴り、蹴り、髪を掴んで引きずり回し、あ、でもたまに優しいんですよ、顔もいいし。……龍くんは私がクビになったと知ったらどうするでしょうか。殴る蹴るでは済まさないでしょう。最悪出ていかれるかもしれません。そうなるのは困ります。両親と縁を切ってでも尽くしてきた私には、もう龍くんしか居ないのですから。さて、どうしましょうか。普通にあれば、退職金で半年ほど食いつなぎながら次の職場を探せるのですが、私の場合、一週間で龍くんが使い切るでしょう。両親には、お金を借り過ぎたあまり絶縁されています。連絡したところで助けてはくれないうでしょう。

さて、これからどうしましょうか。

と、いうわけで、私は私自身を商品にすることを、俗に言う風俗堕ちを決心しました。リストラから5日、私は自分の身体をお金にするべく駅前のビルの一角にある事務所に向かいます。この面接で、私が龍くんと一緒に生きていけるかが決まるのです。

——目を開きます。見えるのはいつも通りの私達の部屋、9.5畳のワンルーム、家賃2万円。まだ身体中がジンジンと痛みます。倒れた私の近くにある、小さな木製のテーブルを手掛かりにして上体を起こします。部屋の隅に立て掛けてある姿見に写った、私の顔には大小様々な痣や打撲痕がありました。今回はお酒で酔って転んだことにしましょう。うっかりしていました。もう誤魔化す必要も、誤魔化す場所もないんです。

龍くんは、私の通帳を持って、出て行ってしまいました。きつとこれから、私よりも愛している誰かの家にも向かうのでしょうか。アラサーで、まともな男性経験もない私は風俗業に身を置くことすら出来ませんでした。どうやら私は、龍くんと一緒にはなれないようです。

まだ痛い身体を動かして、ホームセンターで突っ張り棒とロープを買いました。レジの男性が私の紫がかった顔を見て、やや動揺していたのが面白かったです。帰宅してトイレに入り直す。誰かに見つかった時糞尿まみれでは、見つけた方が可哀想ですからね。トイレから出て、買ったロープの一端を突っ張り棒に括り付けます。ロープを適当な所で切断し、長さを調整します。木製の小さなテーブルを足場に、突っ張り棒を、天井ギリギリの高さに設置します。天井近くから垂れているロープで輪っかを作ります。輪っかに首を通して、足場にしていたテーブルを蹴り飛ばします。私の全体重がかかって、ロープの輪っかは私の気道、頸動脈を

圧迫します。テーブルを蹴った反動で、私の身体は、9.5畳のワンルームの真ん中で、宙吊りの首を中心にくっくりと回転します。部屋の片隅に立て掛けてある姿見に写った私の姿は、糸を殆ど取られた蚕のように見えます。かい子だけに………蚕は、自然に戻る能力を完全に奪われた唯一の家畜化された昆虫らしいです。彼らは蛹になり繭を作ると、絹糸を取るためにその殆どが茹でられ、殺されます。生き残り、成虫となった者は、空を飛ぶことも、何かを食すことも出来ず、いつか殺される子供を産むことしか出来ません。まるで、私みたいですね。誰かの肥やしになって無様に死ぬ所なんて、そっくりじゃないですか。きつと私は家畜だったんですね。私は、会社に使われた末捨てられ、龍くんに搾取された末捨てられ、夜の街から見捨てられ、両親から見捨てられ、死ぬんです。私でなくたって、誰しもが誰かに、もしくは何かに縛られて、いつか見放されて、最後には事切れるんです。事切れることで、私たちを家畜に縛り付けていた糸を、しがらみを、断ち切れるんです。………龍くんは、何かに縛られていたんでしょうか。縛られていない彼だからこそ、私を家畜らしい姿に、食い物に、できたのかもしれないね。そういうえば、カイコの幼虫は食べられる事も珍しくなかったらしいですね。リスだって、トラだって、カイコだって人類に食い荒らされたんですから、いつか、人類は龍でさえも胃袋に納めるかも、しれませんね。………徐々に視界が真っ白に、絹のような白に塗りつぶされていきます。それでは、さようなら。